

## 修了評価の方法

評価基準作成者:河村公裕

評価方法及び合格基準	<ol style="list-style-type: none"><li>1 出題範囲<ul style="list-style-type: none"><li>・「(2)介護における尊厳の保持・自立支援」から</li><li>「(9)こころとからだのしくみと生活支援技術」までとする。</li></ul></li><li>2 出題形式<ul style="list-style-type: none"><li>・四肢択一形式とする。</li></ul></li><li>3 出題数<ul style="list-style-type: none"><li>・四肢択一問題 25 問 全問正解 100 点満点</li></ul></li><li>4 合否判定基準<ul style="list-style-type: none"><li>・60 点以上(6 割以上)</li></ul></li><li>5 不合格になったときの取り扱い<ul style="list-style-type: none"><li>・不合格者には、補習のうえ再評価を行う。</li><li>なお、再評価に係る合格基準は 70 点以上(7 割以上)とし、</li><li>補習料:3,300 円(税込み) 再評価料:3,300 円(税込み)とする。</li><li>再評価は最大 2 回までとし、最終試験の結果、不合格となった者は、未終了扱いとなるため注意すること。</li></ul></li></ol>
------------	---